

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine 【建築研究本部かわらばん】VOL. 162 2023/1/23

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研：どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

□■
☆今月号のトピックス

■年頭あいさつ

■令和4年度北方型住宅技術講習会を札幌市、旭川市で開催します。

■依頼試験制度の紹介（風洞関係）

■お知らせ

□ホームページの更新情報

□環境・エネルギービジネスセミナー『カーボンニュートラルの時代に向けてビジネスを加速させるヒントにする！』の開催について

□■

■年頭あいさつ

（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 本部長
兼務 北方建築総合研究所 所長 西澤 拓哉

新年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大は未だ終息が見通せませんが、社会活動は至るところで再開されてきており、私達の研究においても、コロナ禍で制約されていたフィールドワークなど、各地域の方々と協働する対面での活動にも再び力を入れて取り組んでおります。

さて、人口減少・少子高齢化は社会に様々な影響を与えていますが、建築やまちづくりの分野でも、空き家の増加や建築技術者の減少という状況への対応が求められています。

私どもでは、それらへの対応の一助になるべく、今年4月から、空き家化の早期予防

と活用の促進、また、AIを活用した既存建物診断技術に関する研究を新たにスタートさせます。住宅・まちづくり施策に当たっている道内市町村や、建物診断技術に取り組んでいる民間技術者の皆様に普及できるものにしていきたいと考えています。

このほか、地域の持続に向けた地域運営のあり方、地震・津波などの自然災害への対策、

喫緊の課題であるゼロカーボン北海道の達成に資する研究などにも引き続き取り組んでまいります。

新しい年が皆様方にとりまして、希望の年になりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

■令和4年度北方型住宅技術講習会を札幌市、旭川市で開催します。

「北方型住宅技術講習会」は、住宅建設に携わる技術者の専門知識の習得や技術力の向上により、良質な住宅ストックの形成を図ることを目的として例年実施しております。

今年度は、札幌市と旭川市の2会場で開催いたします。

札幌会場は対面とオンライン（ZOOM）のハイブリッド方式で、旭川会場は対面方式で講習会を行います。

是非、対面開催、オンライン開催のいずれかでご受講又はご視聴ください。

●開催日時・会場等

- ・札幌市 開催日時：令和5年2月14日（火）13:30～15:30
会場：TKP札幌駅カンファレンスセンター3F ホール3B
（札幌市北区北7条西2-9 ベルヴェオフィス札幌）
※対面とオンライン（ZOOM）による併用開催となります。

- ・旭川市 開催日時：令和5年2月27日（月）13:30～15:30
会場：旭川勤労者福祉会館 2F大会議室
（旭川市6条通4丁目）
※対面のみの開催となります。

●講習内容

1. 住宅の脱炭素化について
（1）脱炭素化に向けた「北方型住宅」の取組について
（2）「北方型住宅ZERO」の技術解説書について
（3）既存住宅の取組等について
2. 既存木造住宅の低コスト耐震改修について
3. 住宅金融支援機構からのお知らせ
4. 北海道建築指導センターからのお知らせ

●受講料

- ・無料

●詳細及び申込方法

- ・後日、北海道建築指導センターのホームページに掲載されます。
下記URLからご確認ください。

<https://hokkaido-ksc.or.jp/>

●お問い合わせ先

- ・（一財）北海道建築指導センター 企画総務部企画総務課
〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル8F
TEL 011-241-1893 / FAX 011-232-2870

■依頼試験制度の紹介（風洞関係）

弊所では、2台の風洞装置（粉体風洞装置と環境風洞装置）を有しており、風と雪に関する各種試験で活用しています。粉体風洞装置は縮尺模型（1/100～1/500程度）と雪と相似性のある粉体（活性白土等）を用いて、建物周囲に出来る雪の吹きだまりなどの積雪状況を再現することができ、主に建設前の建築物や土木構造物を対象とした依頼試験を行っています。

環境風洞装置は、風路の大きさが高さ1.8m×幅1.8m、風速が最大20m/sまで可能な道内最

大級の風洞装置です。建築物周囲の風速測定や壁面風圧に関する試験のほか、本物の雪を用いて、設備機器への雪の吹込みや外装材の着雪に関する試験が行えます。これまで、木チップの飛散や風切り音の試験など、風に関する様々な依頼試験も行っていきます。

風洞装置は設備使用でも貸出可能で、費用は、一日目223,860円、二日目以降96,150円です。

風洞装置を用いた試験につきましてご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。

▼依頼試験制度の詳細については下記URLをご覧ください。

http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/h/irai_siken1.html

////////////////////////////////////

■お知らせ

ホームページの更新情報

2022年12月27日更新

メールマガジン「建築研究本部かわらばん」(vol. 161)を配信しました。

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

環境・エネルギービジネスセミナー『カーボンニュートラルの時代に向けてビジネスを加速させるヒントにする！』の開催について

北海道経済部環境・エネルギー課からのお知らせです。
道では、道内企業による環境・エネルギー関連産業への新規参入や事業拡大に向けて、国内外の状況や道内企業における参入事例をご紹介する「環境・エネルギービジネスセミナー」を開催します。

●開催日時

- ・令和5年（2023年）1月25日（月）13：00～15：30
- ・オンライン同時開催

●開催場所

- ・札幌国際ビル 8階国際ホール（札幌市中央区北4条西4丁目）
- ・分科会講演はA・Bいずれかをお選びください。

●参加費

- ・無料

●基調講演

- ・13：15～14：15
 - ・演題：『脱炭素をビジネスチャンスと捉え、成長戦略につなげる』
 - ・講師：松本 真由美 氏（東京大学 教養学部客員准教授）
- 新 エネルギー転換投資の最新動向や主要国の温暖化対策のポイント、脱炭素化に向けた
たなビジネス動向について、国内外の事例を交えてお話しします。

●分科会A

- ・14：30～15：30
- ・大成建設株式会社「ZEB、壁面太陽光発電、EMIによる地域連携（仮称）」
- ・株式会社土屋ホーム（※動画出演）
「新築・既存住宅のネットゼロエネルギー化（仮称）」

●分科会B

- ・ 14：30～15：30
- ・ 公益財団法人自然エネルギー財団
「再エネ電力のコーポレートPPA（電力購入契約）について（仮称）」
- ・ あばしり電力株式会社「再生可能エネルギーの地産地消（仮称）」

●詳細及び申込方法

詳細の確認とセミナーの申込は次のURLにアクセス願います。

URL：<https://energy-hokkaido.com/>

- ・ いただいた個人情報、本セミナーの連絡以外には使用いたしません。
- ・ ご参加にあたっては、会場の新型コロナウイルス感染対策を遵守いただきます。

●主催

- ・ 北海道経済部環境・エネルギー局環境・エネルギー課
- ・ TEL：011-204-5320

●お問い合わせ先

- ・ 公益財団法人北海道環境財団
- ・ TEL：011-218-7811
- ・ E-Mail：kanene-bs@heco-spc.or.jp（@を半角に換えて送信ください）

■管理者からのお知らせ

2022年6月号(VOL.155)より、メルマガの配信方法が変更となりました。

登録内容の変更や配信停止または、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記URL内の「メールマガジンの変更」をクリックし、手続きを行ってください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

購読申込は「新規登録」、変更・配信停止の場合は「メールマガジンの変更」を、クリックし、手続きを行ってください。

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

▼その他お問い合わせメールフォーム

メルマガに関するご質問やご意見等がございましたら、下記URL内のお問い合わせフォームに入力し、送信してください。

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部
<http://www.hro.or.jp/list/building/>

各種SNSで業務紹介しています！

<http://www.facebook.com/nrb.bdrd/>

<http://www.youtube.com/c/道総研建築研究本部チャンネル>